広報
さめがわ

第127号
昭和39年
6月20日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所



鹿角平村営牧野に放牧を開始

牧野らい賛

ここ二、三年来草地の改良を続けてきた鹿角平の村営渡瀬牧野は、適地の開墾もほぼ終り、草生も良好なので、今年から委託放牧を引受けることになりました。

標高六六〇米の高原。空気は澄み、見渡すかぎりの草原に丈なす牧草はみずみずしくしげり、給水給塩設備も出来ました。

電気牧柵がはりめぐらされ親切な監視員がたえず必要な管理をしています。

大自然の恵まれた陽光の下で、栄養にみちた牧草を腹一ぱいに喰み、自由に運動し、自由に憩いのとれるこの牧野こそ、まさに家畜の天国といえるでしょう。

6月の人口と世帯

人口	7.759	(−11)
男	3.847	(−4)
女	3.912	(−7)
世帯数	1.237	(+3)

新らしい農業

追肥はひかえめに 安全稲作でゆこう

予想される不順天候

品種の改良と技術の改善、農薬肥料の性能向上により年々増収の一途をたどってきた稲作も、昨年は不順天候に悩まされ近年にない凶作となりました。

本年も早くから不順天候が予報されており各農家でも対策には怠りないことと思われますが、今後どんな点に注意したら良いかを専門的な立場から検討して頂くために、去る六月四日に座談会を開きましたので要点を抄介します。

出席者は村産業課（金沢課長、蛭田技師）、石川農改古殿支所（芳賀技師）、農協（矢吹指導員）、共済組合（青戸技師）、精農家（松崎清次氏ほか二名）で、司会は鈴木公民館主事、記録は庶務課（関根主事補）があたりました。

水管理で低温を防ごう

司会…今年は田植がだいぶ早かったようですが現在のところ生育状況は如何でしょうか。

矢吹…昨年からみると成育は良好です、これは四月中に高温が少なかったため苗が徒長せず、苗いたみが少なかったためでしょう。

松崎…今までより苗代消毒もやったし良い苗を植えることができた。

司会…これからの管理ですが天候に左右され易い作物だけに今後の見とおしは如何でしょうか。

芳賀…今のところ六月までの予報しかでていませんが、本年も不順であることは間違いないようで台風も五、六回くるようです。鮫川のような高冷地では被害も大きいので間断落水法などの水管理を充分に行ない、とくに低温に弱い幼穂形成期と出穂期に注意して貰いたい。水温は気温より七度も高いから水管理である程度カバーできます。

追肥は無理せず適期に

司会…昨年は多収獲をめざし肥料をはりすぎて失敗した例もあったようですが今年はどうでしょうか。

松崎…去年にこりて今年はどこでも一割から二割は元肥をひかえているんじやないでしょうか。

矢吹…元肥をひかえれば当然追肥が考えられるが。

芳賀…追肥は初期成育を促進させるためのものと穂肥と二通りあり、適期に行なわないと効果がうすい。

松崎…経験からすると追肥の期間が短かいので効果をあげるのはむづかしい。私は田の顔色をみて悪い所に追肥し穂肥に重点をおいている。

矢吹…追肥もやりすぎると穂首イモチにかかる恐れもあり、不順天候だと葉イモチの多発も予想されます。

発生後の消毒より 先づ予防を（イモチ病）

芳賀…被害の大きいのはイモチ病だが一化めい虫や葉モグリバエ、泥負虫などの虫害も油断できません。

矢吹…これらは常習的に発生するので昨年発生した地区は必ず消毒して欲しい。

芳賀…被害がはっきり分るようになってからでは遅いですね。

蛭田…イモチ病は防除で六割までは防げることになっている。とかく葉イモチのときは一生懸命になって消毒するが、穂がでると安心して穂首イモチの対策がおろそかになる傾向にあります。

矢吹…発生しないと消毒しないが予防に使うのが、いちばん効果があることを知って貰いたい。

芳賀…農家では自分の田のことは良く分るのだから、徒長苗や不良苗を植えた所は充分に注意して頂きたい。

松崎…農家ではまだ農薬の有効な使い方を良く知らない効果的な消毒方法を指導して貰いたい。

安全稲作の三点 村内一斉の防除デー

司会…今年は無理な増収をさけて安全稲作でゆこうとする傾向が強いようですが、注意しなければならない点をあげて頂きましょう。

芳賀…常識的なことですが①水管理、②追肥、③病虫害の早期発見の三点にしぼられるでしょう。

松崎…追肥は品種によって方法が違ってくる、水の管理にしても湿田やザル田などさまざまで、理屈どおりにいかないことが多い。

芳賀…そのとおりで稲も人間の体と同じことですから自分の田の条件や、品種を考えて管理に万全を期して頂きたい。

司会…今後の対策として適期にチラシを配付するとか、一斉防除を行なうなど関係機関で考えられないでしょうか

金沢…村にも対策協議会があり苗代管理についてチラシを一回だしたが今後も続けてゆきたい。

松崎…病害虫の発生が予想される時期に防除デーを設け村内一斉に防除を行なつてはどうだろう。

金沢…できるだけ要望にそえるよう努力してみます。

矢吹…農協でも昨年にこりたので今年は農薬も充分に用意してありますので是非お願いしたい。

司会…お忙しいところ貴重な時間をさいて参加下され有りがとうございました。これを機会に関係機関を中心にして対策が研究されることを希望します。

（文責　鈴木一）

村内あれこれ



ローマ字位は私たちも…と熱心に勉強する中央婦人学級の御婦人たち。



今年は安全稲作でいこうと座談会が開かれ、水の管理、追肥、病害防除などを話合いました。



傷んいでた役場のハリは鉄骨で補強事務室内も改造一層親んで頂ける役場になつた。

おめでた

四　月
二七日　新宿　小滝　健弘

五　月
二日　沼野沢　本郷　正幸
二日　見渡　円井恵美子
五日　関口　藤田　博文
七日　酒垂　斉藤　敏雄
八日　新宿　小松　一紀
一〇日　岩野草　根本　正孝
一三日　宝木　水野　一郎
一六日　蛭ケ沢　石井　正男

おくやみ

四　月
二六日　戸草　55関根　七郎

五　月
五日　楢久保　65白坂　キイ
六日　戸草　71芳賀　末吉
二四日　名下　58須藤彦太郎

組長大会の盛況



6月10日恒例の組長大会が公民館に開かれ出席率100％に近く、会場はバイクの波。



新年度の課税方針などを熱心に聞く組長さんたち。近年は婦人組長さんもめつきり増加。



プロパンガスからできかけた火災を消火弾で消し止めた舟木ハルノさんを村長が表彰。

村長の声 (11)

国有林問題重大時期に立つ

村長　石田卯子八

農業構造改善事業を契機として起つた今度の国有林解放運動は、全国的に根強くひろがり、国会の中にも国有林野解放促進国会議員懇談会というものがつくられ、自民党政調会農林部会の中に国有林解放小委員会がつくられました。

ここまで来れば多年の宿願が明るい希望の窓を開くかに見えるのでありますが実情はなかなか容易でないものがあるように思えるのであります。

県大会、全国大会と私も出席しましたが、林業基本法案は政府原案が閣議決定を見ているものの、その中には「国有林の積極的な活用」という一句があるだけで、いわゆる「積極的な解放」のための立法は、政府案としては全然用意されていないのであります

それで国会議員懇談会は「国有林野処分特別措置法案」を議員提案で今国会に出そうとしているわけです。

しかしこれが自民党の小委員会を経て、農林部会を通過し、会期延長の短かい今国会の重要法案累積の中で、十分に審議可能かということになると、なかなか楽観はできないと思います。

今のところ国有林は解放せずに利用権だけを拡大する。国有——民営方式を可とする林野関係方面の意見も強いのでありますから、国有林偏在地域の住民の声を十分に盛り上げて、ゴマ化しのない真の国有林の住民への解放——所有権の委譲、民有民営の実現を図ることに世論を統一して努力しなければならないと思うのであります。

わが村の農業構造改善事業用地については、以上の特別措置法以前の問題であつて、概ね要望の面積を確保できたのでありますが、これは農林事務次官通達（現衆議院議員伊藤正義氏の次官当時）によつたものであります。

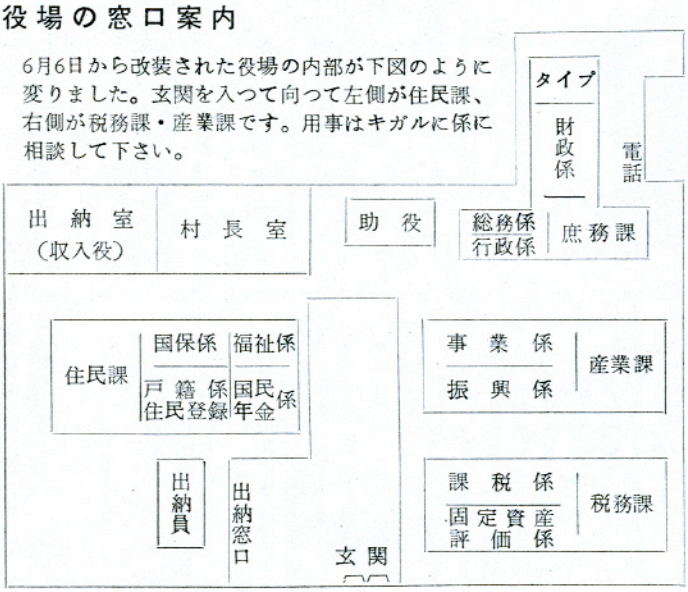
牧野用地、桑園用地として既に所属替や貸付のきまつたところは二〇〇ヘクタール以上に及びますが、これは県下初めてのケースであつて御尽力をいただいた国会議員の先生方県当局その他関係の各位には深く謝意を表する次第であります。

私は前橋営林局、地元営林署の各位からも村として格別の厚意に預つたと感じております。

今後は既定計画に基いて事業の遂行と効率の向上に努力しなければならないとともに特別措置法の成立とその後の対策にも十分備えるところがなくてはならないと思います。

役場の窓口案内

6月6日から改装された役場の内部が下図のように変りました。玄関を入つて向つて左側が住民課、右側が税務課・産業課です。用事はキガルに係に相談して下さい。



福祉の窓

老人の憩いの集い

昨年八月一日より施行された老人福祉法により飯川村にも各地区に老人クラブが結成されました。

この老人福祉法は老人の福祉を高めようとするもので老人に対し心身の健康の保持、生活の安定をはかること、また老人は多年に亘り社会の進展に寄与してきた者として敬愛されるようにとの目的で施行されるのです。

老人クラブは老後の生活を健全で豊かなものにし、お互の喜びと希望をもつて、社会や家庭から親しまれ愛されながら長寿をたのしみ、会員が自主的に運営することになつております。

クラブに加入していない方は何時でも加入が出来ますから次の地区委員に申込んで下さい。

カツコ内は会長さんです。

赤坂中野長生会（矢内　嘉続）
東石老人クラブ（森　波治）
富田老人クラブ（青戸倉之進）
渡瀬老人クラブ（芳賀一郎）

以上の四地区が四月中に結成され、西野区と西山区では六月十五日に結成されました。

（住民課）

商業統計調査

二年に一度行なわれ、国の統計を作成する重要な調査であります。これは全国の商店について、その分布状況ならびに商業活動の実態を明らかにすることを目的としており七月一日現在で行なわれます。

飯川村は三つの調査区に分けられ、それぞれ県知事より任命された調査員が調査に当ります。

又この調査票は税金や、その他の目的以外には絶対に使われませんのでご心配なく、正確な調査が出来るよう御協力をお願いします。

（庶務課）

告知版

農協組合長に 芳賀一郎氏

戦時中の農業会よりひきつづき農協に勤務され、本村の産業振興に多大の貢献をされた須藤前組合長さんは、病気療養中であつたが胃潰瘍のため去る五月二十四日に逝去されました。

後任組合長として理事会にて芳賀副組合長の昇格と副組合長に関根銀治氏が決定されました。



新しく組合長に選ばれた芳賀さんは渡瀬字江竜田部落に住い、若いころから区長、議員、消防組頭、各産業団体会長などの要職を歴任されたベテランで七十才の高齢にもかかわらず自転車で通勤される健脚ぶりは、発展途上にある鮫川農協の組合長にふさわしいとこれからの活躍が期待されます。

し尿処理場 十五日から操業開始

塙町上渋井地内に建築中であつた東白川清掃センターはこのほど完成し十五日より操業を開始します。汲取車二台で郡内をまわる予定ですが本村は毎週金曜日に、特別清掃地区に入つている新宿道少田広畑の部落と、学校など公共施設の汲取を行ないます。

利用される方は役場住民課に申しこんで下さい。申込順に汲取ります。料金は基本料金が二斗につき三六円

一斗を増す毎に一八円。

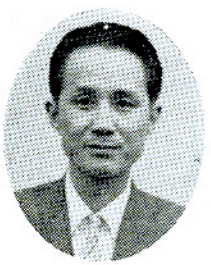
一リットル当り一円の割です。

運動場の使用は 五日前まで地教委に

昨年自衛隊の協力を得て完成した村民運動場は、このほど附属建物の建築も終り使用できるようになりました。使用される団体は代表者名で五日前までに許可申請書（用紙は教委にあります）を教育委員会教育長に提出し、許可書を受けてから使用して下さい更衣室や水道はカギがかかつていますから特別に許可を受けないと使用できません。

新しい郵便局長さん

大正十一年より四十余年の長きにわたり鮫川郵便局に勤務され、郵政大臣賞などかずかずの個人表彰と局表彰をうけ郵便業務の発展につくされるほか、村議会議長、鮫小鮫中PTA会長などの要職を歴任された大池康義氏はこのほど退職され、子息の基義氏が新しい局長として五月十一日より勤務されました。同氏は過去に村・郡の青年会長として地域社会の発展につくされた実績をもち今後の活躍が期待されます。



村の皆さんへ

生田目　清

①富田字鍬木田、②鮫川小、③大正十年、④会社員、⑤六人、⑥常磐市

若輩十八才にして軍人を志願し将来は軍隊で生活をと夢みながら入隊、昭和二十年八月終戦というきびしい現実に遭遇し二十一年六月丸裸かで復員する。

農家の次三男の進むべき道は明白、農家に婿に行くか故郷を捨てるか、小糠三升あつたらのたとえ意を決して炭礦に入る。当時私の兄も常磐炭礦で働いていたので最初は採炭夫として杭内で働らき、その後運搬係として勤務している。

私は会社のなかでも右翼の不良礦員、会社に十七年ほど奉職するうち余り会社の役にはたつていない。組合の常任幹部を十年ほどやり、その間に郷土の先輩である坂本六良さん等と県労協の副議長などをつとめ、種々お世話になつた次第である。

組合幹部の関係などから市会議員の候補者に選ばれ現在すでに三期つとめている。おかげさまで鮫川出身の出世頭などと言われる反面、そねみから悪口なども言われている次第、出る釘は打たれるので止むなし。

「広報さめがわ」を拝読して石田村長以下各吏員、議員の方々の村政発展の活躍ぶりを拝見するとき、私も村に帰つて皆さんとひざを交え生れ故郷に奉仕したい気持で一杯しかし現実は止むなし。

鮫川の清流にそだつた健児ここにありの意気で今後も頑張らん。

西山の数え歌 (1)

明治の中ごろ西山字西野内地内に住み若者たちに学問を教えていた関根恵重郎先生はたいそう博学の方で、西山の部落名をおりこんだ数え歌をつくり愛唱されていたとのことですが、今では当時の人も少なく忘れかけられていましたが、大平の関根源太郎翁（八十三才）がおぼえていたのを、思いだして頂き、まとめたものを次に掲載します。

この歌は二十までつづき西山の部落名が全部歌いこまれていますが、紙面の都合で二回に分けて掲載します。

（写真は源太郎翁）



一ツトセ
東のお山に祭りおく
お稲荷神社の御利益で
戸倉に金銭どんと積む

二ツトセ
福と聞いたら発地岡
峯には阿ふ利の御社
籠にわく湯はききめ良く

三ツトセ
美ごとな花だよ赤柴で
つづきし御山は竜神の
前には稼ぎの良い管田

四ツトセ
良く堀りさげたよ坂路を
ななめにまわして通り良く
棚橋渡つて通よわんせ

五ツトセ
今の区内の中央で
学校お店と立ち並び
水口、田中を目の下に

六ツトセ
昔のお城の跡らしい
あたご山の境内を
管野目で見りや良い景色

いもち病防除の 現地試験

中野字大塩の矢吹正さんの田を圃場として総合的な防除の試験を行ないます。

品種は畑苗代育苗の「こがねもち」で早期防除区（六月二十日、二十七日、七月五日）、慣行区（七月五日、十二日、十九日）の二区に分け各種防除薬を使用し試験します。

（産業課）

【注意】 つゆ時の郵便利用

湿気や雨で郵便物がぬれてあて名がにじみ、読みにくくなることがあります。とくに鉛筆やボールペン、カーボン紙で書いたものは読みにくくなつて、郵便局員の悩みの種であり事故の原因になつております。

郵便のあて名は「正確に、はつきり読めるように」書いて下さい。

（鮫川郵便局）

あとがき

「農家にくる嫁がなくて困つた」各地で花嫁相談所などを設けて、対策に頭をしぼつたのはここ四、五年前からの現象でしたが、この頃では嫁どころか「家の息子は農業をやりたがらない」と、後つぎの問題が深刻化してきました

若い者が農業にミキリをつけるのも無理のないことと思われますが、この困難な時に正面からとり組もうとする青年の少ないのをなげかれる初老の話を聞き、古い人の話だと片づけられない思い。